

湯田川水系流域治水プロジェクト

【位置図・ロードマップ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

北薩地域流域治水協議会

湯田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、湯田川水系においても、流域内のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■被害対象を減少させるための対策

【土地利用・住まい方の工夫】

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）〈県〉
- ・宅地嵩上げ、高床住宅の建設促進〈市〉
- ・立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）〈市〉

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- ・橋梁架替、護岸整備、河道掘削、樹木伐採等〈県〉

【内水対策】

- ・臨時排水ポンプの設置〈市〉
- ・水門の高度化（遠隔化・自動化）〈市〉
- ・排水路整備〈市〉

【土砂災害対策】

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進〈県等〉

【流出抑制対策】

- ・森林整備による流出抑制対策〈県〉
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策〈県〉
- ・公共施設による雨水貯留施設整備〈市〉
- ・水田貯留〈市〉

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地のリスク情報の充実・提供】

- ・洪水浸水想定区域図の作成・公表〈県〉
- ・地区防災計画の作成〈市〉

【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- ・水位計等の設置、防災情報の提供〈県〉
- ・水門等情報伝達システムの構築〈市〉
- ・浸水センサの設置〈市〉
- ・マイタイムラインの作成・支援〈県、市、気象庁〉
- ・鹿児島県水害リスクマップ運用〈県〉
- ・戸別受信機による防災、気象情報の充実〈市〉
- ・関係機関との情報連絡体制の強化〈市〉

【地域の防災力向上】

- ・防災研修、出前講座等〈県、市、気象庁〉
- ・防災チラシの配布〈市〉
- ・個別避難計画の作成〈市〉



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

湯田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○湯田川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした湯田橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削等を主に実施。

土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤，急傾斜地崩壊防止設備整備，森林の整備・保全，治山施設の整備を実施。
内水対策として臨時排水ポンプの設置や水門の高度化（遠隔化・自動化）を実施。

【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした湯田橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削等を主に実施。

【中長期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。

土地のリスク情報の充実・提供，防災情報，避難体制の検討・連携強化，地域の防災力向上，土地利用・住まい方の工夫など，流域内の被害軽減を目指す。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	鹿児島県，薩摩川内市	湯田橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採 等		
	内水対策	薩摩川内市	臨時排水ポンプの設置，水門の高度化（遠隔化・自動化）		
	土砂災害対策	鹿児島県	砂防施設の整備 等		
	流出抑制対策	鹿児島県，薩摩川内市	森林整備，治山施設整備，透水性舗装 等		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	鹿児島県，薩摩川内市	土砂災害警戒区域等の指定，宅地嵩上げ，高床住宅の建設促進 立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）		
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県，薩摩川内市	洪水浸水想定区域図の作成・公表，地区防災計画の作成 等		
	防災情報，避難体制の検討・連携強化	鹿児島県，薩摩川内市， 気象庁	水位計等の設置，防災情報の提供，マイタイムラインの作成・支援，水害リスクマップの運用		
			個別受信機による防災，気象情報の充実		
	地域の防災力向上	鹿児島県，薩摩川内市， 気象庁	防災研修，出前講座，防災チラシの配布 等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

湯田川水系流域治水プロジェクト

【個別対策】

～いつか必ずくる大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

北薩地域流域治水協議会

湯田川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備（総合流域防災事業）【鹿児島県】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	橋梁架替, 護岸整備, 河道掘削, 樹木伐採等	鹿児島県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県砂防課】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



砂防関係施設の整備

砂防事業(薩摩川内 三田川3)



砂防事業(薩摩川内 伊勢美山川1)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全・治山施設整備の取組【鹿児島県，薩摩川内市等】

- 人工造林（再造林）などの森林整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

【森林整備イメージ】

人工造林（再造林）



間伐

整備前



整備後



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・森林整備による流出抑制対策
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策

治山施設整備【県】

【治山施設整備イメージ】

豪雨等に伴う山地災害



治山施設の整備（溪間工・山腹工）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	県・市・森林組合等			
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策事業【薩摩川内市 道路河川課】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	内水対策	・関係機関との情報連絡体制の強化	薩摩川内市			
		・臨時排水ポンプ設置 ・排水路整備 ・水門等の高度化(遠隔化・自動化)	薩摩川内市, 施設管理者			
	流出抑制対策	・公共施設による雨水貯留施設整備 ・水田貯留	薩摩川内市			

湯田川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上（「土砂災害警戒区域等マップ」、「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,842箇所
土砂災害特別警戒区域 : 20,462箇所
(令和7年3月末時点)

土砂災害防災訓練



垂水市

土砂災害に関する 出前講座



喜界町立早町小学校



志布志市



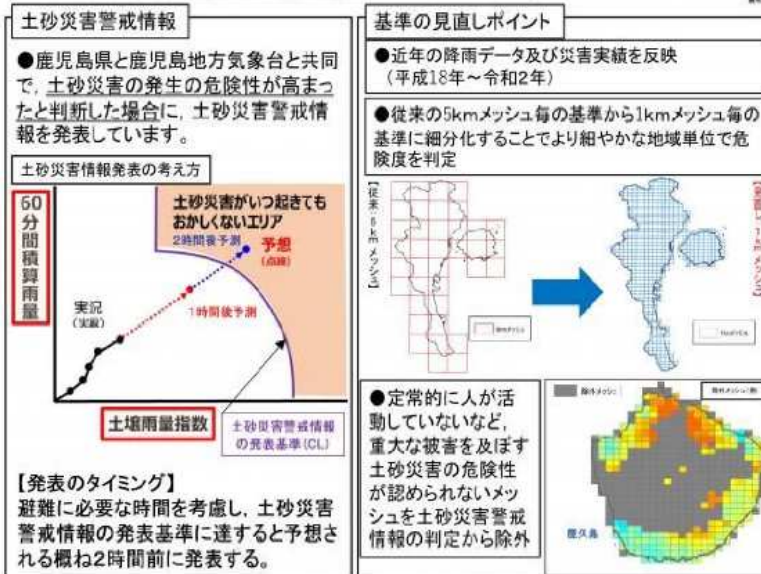
南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域、雨量、土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

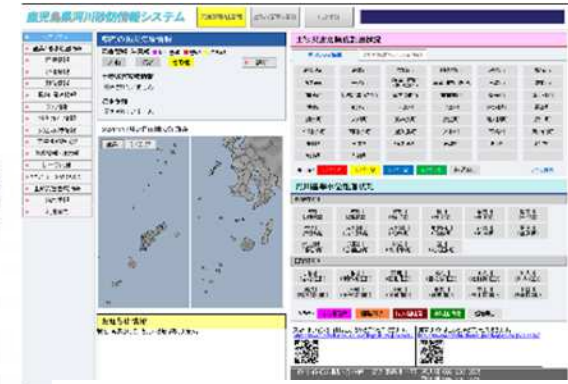
鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

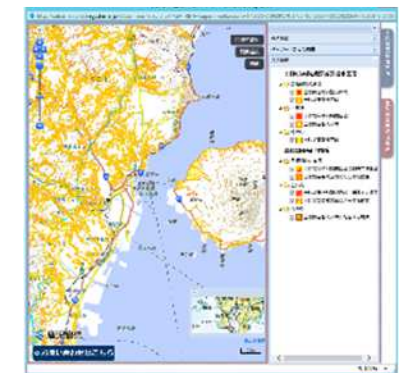
土砂災害警戒情報の基準が新しくなります！



鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

宅地嵩上げ、高床住宅の建設促進【薩摩川内市 建築住宅課】

災害時の状況を把握しながら、被害対象を減少させるため、浸水が想定される区域に対する宅地の嵩上げや高床住宅の必要性の周知を行う。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	宅地嵩上げ、高床住宅の建設促進(浸水等が想定される地域への周知)	薩摩川内市			

湯田川水系流域治水プロジェクト

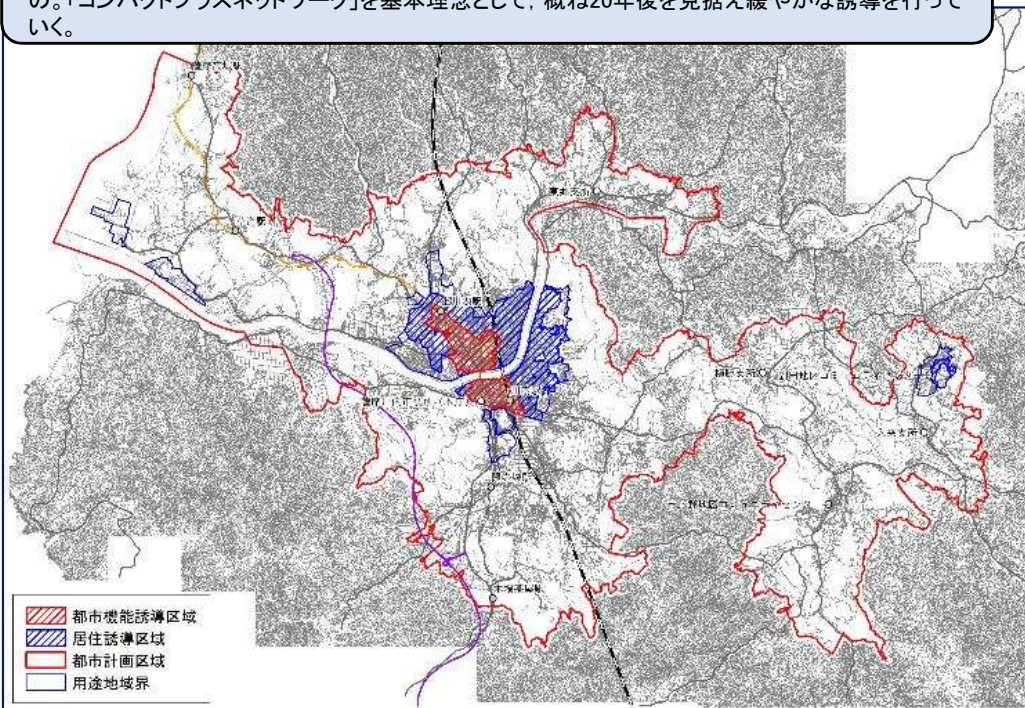
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）【薩摩川内市 都市整備課】

- 改正都市再生特別措置法に基づき、令和2年3月に「薩摩川内市立地適正化計画」を策定。
- 関係法令の改正等を踏まえ、立地適正化計画の見直し検討を行う予定。（令和6年3月に防災指針策定済）

立地適正化計画とは

人口減少・少子高齢化が見込まれる将来世代にわたって、安全や暮らしやすさが確保される生活環境を整え、行政サービスを提供できる「持続可能なまちづくり」を目指すことを目的に策定したものの、「コンパクトプラスネットワーク」を基本理念として、概ね20年後を見据え緩やかな誘導を行っている。



立地適正計画令和2年3月策定

関係法令の改正内容

まちづくりにおける「防災・減災の主流化」に向け、立地適正化計画に災害リスクの分析・課題抽出を通じた防災・減災対策を位置付ける防災指針を作成することが義務付けられた。

- 近年、全国各地で土砂災害や河川堤防の決壊等によって浸水被害や土砂災害などが発生し、人命や家屋、社会経済に甚大な被害が発生
- 今後も気候変動の影響から降雨量が増加し、洪水や内水被害、津波、高潮、土砂災害といった水災害が頻発化・激甚化することが懸念

上記対応に向け、令和2年6月に都市再生特別措置法が改正
立地適正化計画に防災指針が位置づけ

「防災指針」は、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、防災施策との連携強化など、安全なまちづくりに必要な対策を計画的かつ着実に講じるため立地適正化計画に定めるものです。

令和2年6月都市再生特別措置法の一部改正

※立地適正化計画は20年後を目標とし、概ね5年毎に調査・分析及び評価を行い、必要に応じて見直しを検討する。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の評価・見直し	薩摩川内市			

湯田川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減， 早期復旧・復興のための対策

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計等の設置、防災情報の提供【鹿児島県】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・雨量計などを設置しているところである。
下図のように湯田川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

湯田川流域における 水位計・雨量計の位置図

湯田川水系内に設置されている各施設数（R4.1末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	-	1	-	1
合計	-	1	-	1



危機管理型水位計



凡 例	
△	水位計, カメラ
▲	水位計
▲	危機管理型水位計
○	雨量計(県)
●	雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供	鹿児島県			

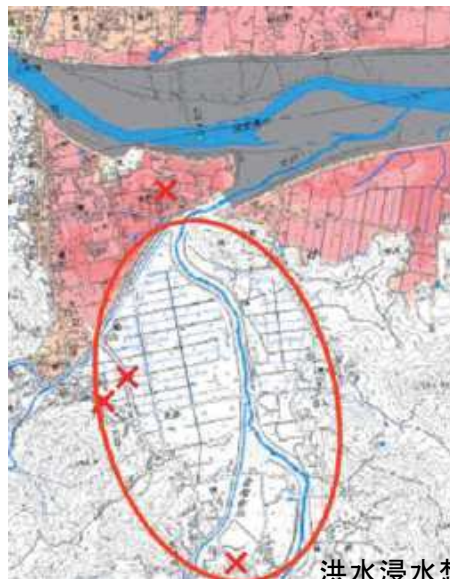
湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

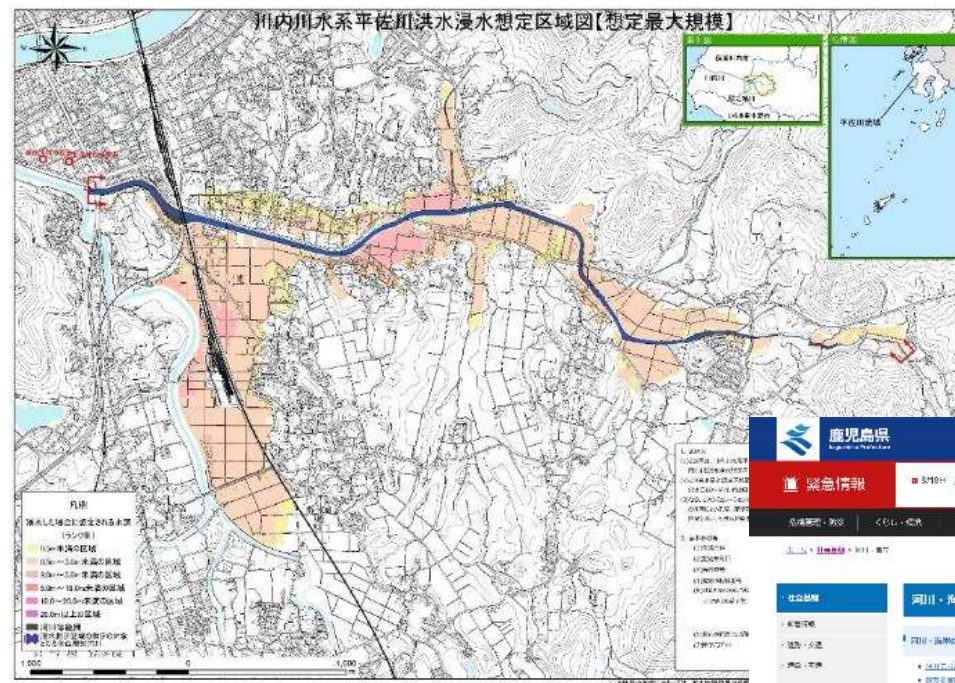
洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- ・ 現在の水防法では、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- ・ 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・ 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成(令和8年3月までに公表予定)し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

浸水想定区域図(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

逃げキッド[®]

マイ・タイムライン 検討ツール

余裕を持って安全に避難するために。
マイ・タイムラインをつくって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインが あるとき

3日前

避難が予定
しられていた!

マイ・タイムラインでは
持ち物を確認する
ことになっていたわね

避難が怖くないから
今のうちに避難所
に行かないと

マイ・タイムラインが ないとき

避難が発生
したんさって!

へー
上野する
のかさう?

マイ・タイムラインには
情報が集められて
がいてるよ!

川の水位を
チェックしておくよ

スマホで
調べたよさか

なんか
何もかも
わからな!

わあ、
すごいわー!

川の水位が
上がったと
なにかいよ

避難勧告
だぞー!

**避難勧告が
発令されました。**

避難はできるね?
今のうちに
逃げよう!

避難開始!

が元は
気がついて!

おけもうちに
避難できたわ!

避難勧告! どうしよう!

どこに逃げれば
いいかわからず!

スマホの充電が
切れそう...

はんぱな避難は
氾濫発生

「台風が発生」してから「川の水が3倍」するまでのそなえを
いつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が3倍」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村

地区

家 マイ・タイムライン

作成年月日 年 月 日

	主はそなえ	そなえの例	
そなえ までの 所要時間の 目安 5～3日前	「台風が発生」してから 「川の水が3倍」するまで 台風が発生 台風の発生が確認されたら、 家族全員で台風に備えて 過ごすこと。 水が川に溢れるのを防ぐ。 台風が近づいて、雨や 風がだんだん強くなる 避難所に行くこと。 避難所には 水が3倍になるまで 避難所に行く。 雨が強まって、川の水が だんだん増える 台風が来るころから 避難所に行くこと。 避難所には 水が3倍になるまで 避難所に行く。 強い雨で、川の水が だんだん増えて、 河川敷にも水が溢れる 川の水位が 3倍になるまで 避難所に行く。 川の水がいっぱいで あふれそう！ 水が3倍になるまで 避難所に行く。	台風の今後を調べ始める 避難所の準備 避難所に受け取りに行く 家の周りに風で飛ばされるような ものは外に避難 テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や風の速さに注意 避難する時に持っていくものを 準備する 家族と連絡を取り合う 生きているところと避難の 所要時間を調べる 携帯電話の充電 ハザードマップで避難場所、 避難手段を再確認 川の水位を調べ始める 通行止め情報が ないが、 インターネットで確認 携帯メール等で 避難準備情報の受信 避難しやすい服装に着替える	大雨が 続く 避難所に行く 避難所に行く 避難所に行く 水位等の 状況を 把握する 避難所に行く 避難所に行く 避難所に行く
2日前 1日前 半日前			

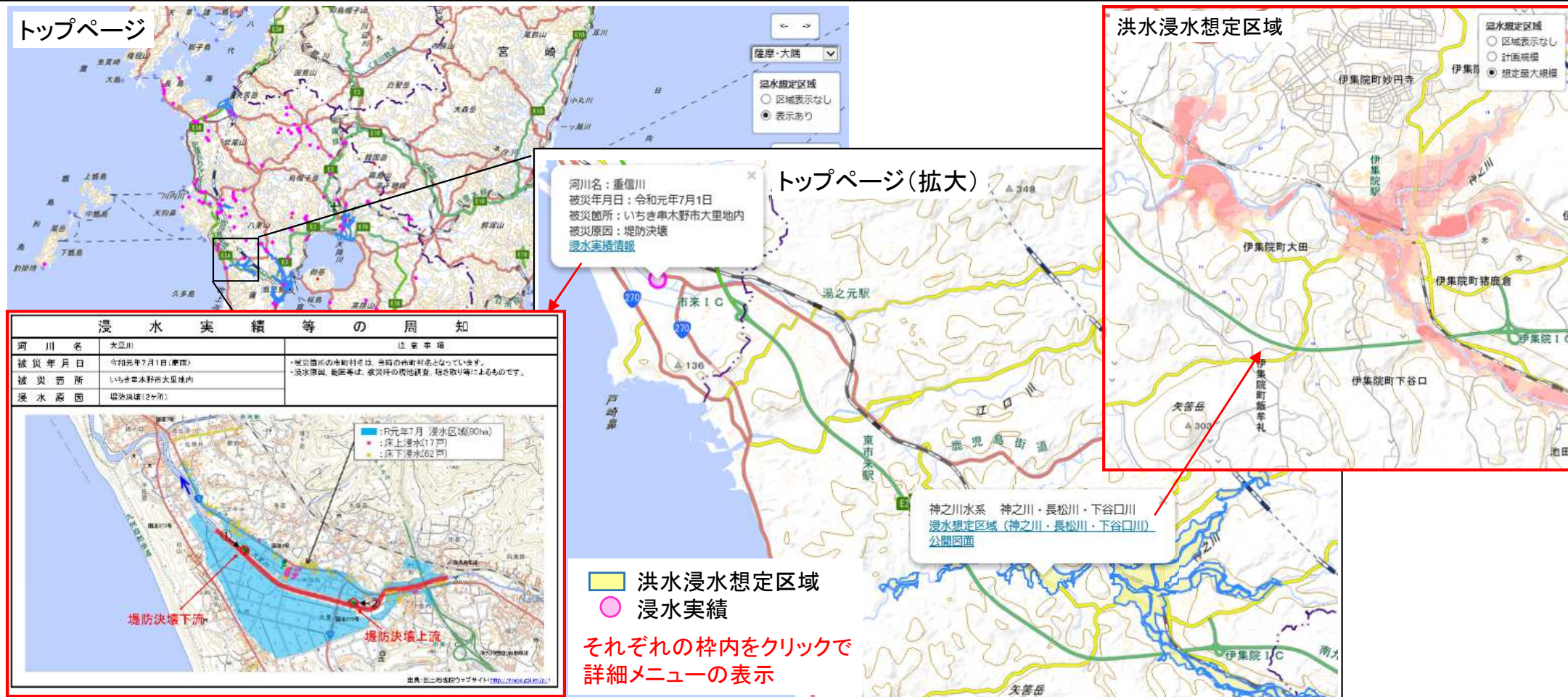
今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい
住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県、薩摩川内市、気象庁			

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について、地図情報上に集約化し、わかりやすく県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

<http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html>



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県の事例】

地域の防災 リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による 地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修、出前講座等	県			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、関係市】

個別避難計画作成

- ・市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- ・当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- ・また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしており、令和6年4月1日現在の作成状況は、全ての市町村において、全部策定済みまたは一部策定済みとなっている。
- ・県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・これらを踏まえ、市の努力義務となっている個別避難計画の作成について、流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	個別避難計画策定支援	薩摩川内市			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。

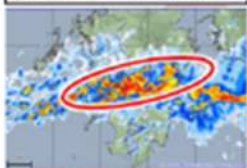
- ・ 令和4年6月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- ・ 令和5年5月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒して発表）を開始。

令和6年5月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

令和3(2021)年
線状降水帯の発生を
お知らせする情報
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域
を楕円で表示

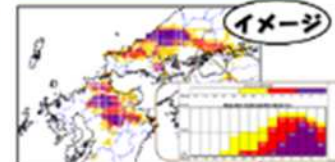
令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～
府県単位で半日前から予測
(令和6年5月27日提供開始)

次期静止
気象衛星
(令和11年度
運用開始予定)



令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握
が可能な危険度分布形式の
情報を半日前から提供



イメージ

令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

線状降水帯による大雨の
半日程度前からの呼びかけ

鹿児島県（奄美地方を除く）
令和6年の実績

呼びかけを行った回数 4回
線状降水帯の発生 2回
適中率 50%
捕捉率 100%

呼びかけを行った4回に対して、
3回で3時間降水量最大値が
100ミリを超えた



呼びかけを行った場合、
線状降水帯が発生しなくても
大雨となったことに留意

この呼びかけが行われたときには、
大雨災害への心構えを一段高
めていただくことが重要

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理 ※令和8年度出水期からの運用開始予定

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※ 1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の 河川（洪水予報河川、水位 周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の 河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村 ごと※ 2
警戒レベル相当情報※ 4	5 相当	レベル5 氾濫特別警報※ 3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※ 3
	4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

	洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と5段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応（教材は気象庁HPで公開）
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル － 10分で防災 －



福岡管区気象台HP（教材はこちら）

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきると思いますか？

何がおきる
ここに色々
書いて
ください！

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何がおきる
どういう行動をする
今度は、ここに
書いてください！

ステップ2 話し合う

他人の考えを聞いて、新たな
「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところに避難する
雨がたくさんふる	進路などはあくして、
土砂がすれ	水、食べものを準備しておく
高潮、川が溢れる	高いところへいく
強風	

ステップ3

振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。
用水路や道路のマンホール。
普段は何でもない場所が、
突然の大雨で、命を落とす場
所に変わることがあります。
「自分の身は自分で守る」と
いう意識を身につけましょう。

起きる災害
を考える



自分の行動
を考える



行動を
話し合う



各班の意見を
みんなで
聞きましょう



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災情報の伝達等【薩摩川内市 防災安全課】

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	・ハザードマップの見方や、内容について、住民等への説明 ・ハザードマップの更新	薩摩川内市	・ハザードマップの見方や、内容について、住民等への説明 ・ハザードマップの更新		
	防災情報の伝達	・ハザードマップの更新による住民への周知 ・適切かつ的確で、きめ細やかな災害情報の提供	薩摩川内市	・ハザードマップの更新による住民への周知 ・適切かつ的確で、きめ細やかな災害情報の提供		

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策【薩摩川内市道路河川課】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【水位計・監視カメラカメラ等の設置、関係機関での情報共有化】

- ・関係機関との情報連絡体制の強化
- ・浸水センサ、水位計、水位監視カメラ等の設置

【水害時の避難路・輸送路整備】

- ・避難所等への避難路等整備

【樋門・樋管の操作関連】

- ・水門等の高度化(遠隔化・自動化)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・監視カメラ等の設置、関係機関での情報共有化	関係機関との情報連絡体制の強化	薩摩川内市など			
		浸水センサ、水位計、水位監視カメラ等の設置	薩摩川内市			
	水害時の樋案路・輸送路整備	避難所等への避難路等整備	薩摩川内市			
	樋門・樋管の操作関連	水門等の高度化(遠隔化・自動化)	施設管理者			

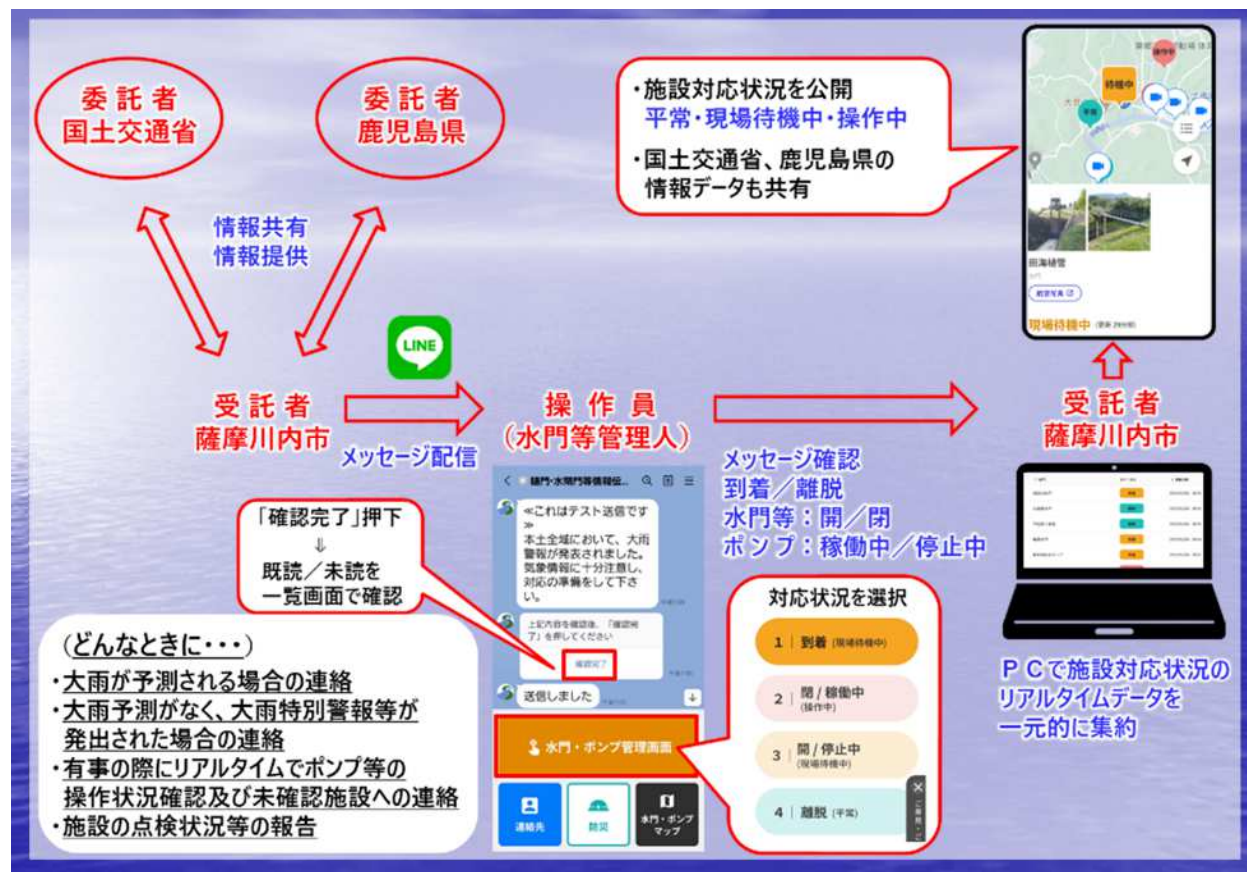
湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水門等情報伝達システムの構築【薩摩川内市 道路河川課】

近年の線状降水帯発生による集中豪雨により、市街地において道路冠水や家屋等の浸水など甚大なる被害が生じたことから、本市では、リアルタイムの水門等の操作状況確認や未確認施設への連絡など、操作員との情報連絡体制の強化を目的として、水門等情報伝達システムを構築し、令和5年3月から運用を開始した。

<水門等情報伝達システム イメージ>



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	総合的な内水対策の検討	水門等情報伝達システムの構築	薩摩川内市	R4構築	構築後、運用	

湯田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

浸水センサの設置【薩摩川内市 道路河川課】

- 近年、激甚化・頻発化する災害において、同時多発的に起こる浸水の状況把握は困難であり、初動対応の遅れなどが課題であった。
- そのため、迅速な避難等の判断の材料とすることを目的として、市内の浸水危険箇所に浸水センサを設置し、浸水検知情報を市民に公開している。
- また、浸水の状況をいち早く察知することで、水防活動や適切な防災業務の実施に役立てている。

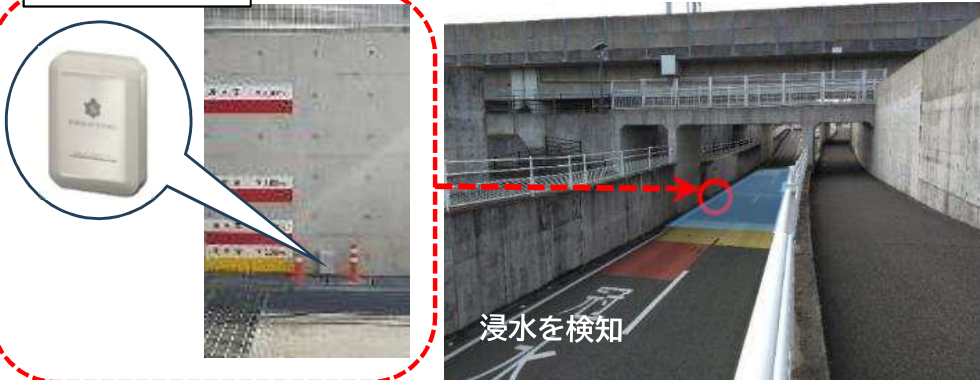
浸水危険箇所の整理



- ポンプ施設付近 → 浸水の危険が高い箇所。
- アンダーパス → 周囲の路面より低く、豪雨時に冠水の危険がある箇所
- 早期浸水箇所 → 豪雨時に道路冠水が発生しやすい箇所

浸水センサ設置

<浸水センサ設置状況>



浸水状況共有システム

<浸水通知画面>



通知を希望するセンサを選択（通知をON）すると、該当センサが浸水時にプッシュ通知でお知らせ！

R6年度の浸水センサ活用状況

○通知設定の登録者数

【センサ運用開始
発表後(R6. 3月末)】
705人

→

【R6.12月末時点】
1612人

出水期等に利用者増加！
多くの住民が活用！

○センサからの通知件数

計67回

(R6.12月末時点)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	総合的な内水対策の検討	浸水センサの設置	薩摩川内市	R5設置	設置後 運用	